



忍
 山
 乃
 物
 記
 五

不
 乃
 山
 三
 清涼
 中
 藏
 山
 溪



13
 1626
 8





1626
8

小夜宮卷之九

才四十一 極樂への告白
 才四十二 圖魔王九思の鏡
 才四十三 恩送り
 才四十四 禽獸狩の事
 才四十八 棄衣懸衣の事

小夜宮卷之九

才四十一 極樂への告白

縁山

奈廣王大王のいそしらく...
 世に使者とありて...
 多し大まげおし...
 乃飛すれ...
 らハ...

Red square seal at the top of the left page.

Red square seal at the bottom of the left page.

深きしるにそまはれ使言告状の由り教
方里の波濤とものごと安永世界へまゝの唐泰の
始皇帝の不老不死の薬とてさへんふあ蓬萊方
丈瀛洲の三神山と名どりのや童男即女松のかりふ
あり年月とあり唐帝れ玄宗貴妃のよれとれ
しとせめく魂魄のま家とてさゆかりとありし
上瑠落下黄泉遠る後私波のうへまゝふい波
南まの使言の万里の滄波とものごと松永清ふいそ
何の使言松永よ手付先壯嚴とありまゝん年
均成地は瑠璃とてささる八十由旬の七寶樹
金銀瑠璃瑠璃瑪瑙珊瑚琥珀真珠水晶玉枝

はかりの香黄赤白紫色の光とありまゝん
七宝の網とあり宝珍成りまゝん
常任の網とあり網の目毎に八百位の宮殿ありまゝん
玉のまゝ錦の帳の中ふ簫笛琴笙の調を
あり天童二六時中百子の妓樂成奏ありまゝん
れ徳佛散向し給ふまゝの百味の飲食ありまゝん
しとのつる飽満にまゝん八功徳地の池ありまゝん
車馬ありまゝん夫人を前へ龍引馬首の松と
うめ常樂我淨の風吹く若空雲我の霞ありまゝん
鳧雁鸞鳳はまゝん池の中央ふい太
宝蓮華開く八万四千の花葉とけりまゝん







社内をいふれど、
 色れどつもくかれ、
 秋物候とやえんあき、
 夕ぐらりまれば、
 之はくふふまごひ、
 蒙ハ病よちあき、
 とおちとく、
 ぐいさく、
 かねぬ山の奥よ、
 あはれ、
 才四十三 恩送り

義経叔母の心苦、
 めふ市、
 やらん男女、
 老見畏く、
 先づも、
 中、
 父、
 乃、
 ち、

小夜屋巻九

教経恨乃矢といけ。ち矢恋大ふ痛命も何や
うけうと云ふ。輪王と云ふ下つてこりやあ。恩と云
ひて報せごらん。樹の多し枝と云ひく。徳と云
て徳と念せごらん。跡乃康風草と換じか。おやと
とり。情王志乃市と云ふ。帝と始なり。徳大お流
幾一切の人と云ふ。輪王と云ふ。おぬらひなり。又老見
た。心そひれ。事乞前代未開なり。二子お乃方
年と見とてぬれ。さうらけ。枯湯と云ひわ。さう
者人の。系門法大お人の見。系。落見。退治の中よ
輪王と云ふ。子ハ事。年よと見。氏主。氏大。切よ。あ。忠告
れ。及中。あ。初。初。初。の。あ。と。し。ハ。帝と。初。初。と。ま。う。り

此夜乃神成り。うり。の。憐。厚く。あ。い。つ。ま。後。う。び。流。
大。お。し。怨。軍。も。お。れ。と。も。あ。わ。れ。て。ま。う。ひ。の
神。成。わ。く。あ。ふ。諸。人。を。鬼。が。志。と。入。く。さ。り。あ。は。
た。即。當。て。り。て。ま。ま。の。成。り。ま。ま。成。助。か。り。
と。さ。ひ。り。人。よ。か。め。れ。は。代。達。し。あ。と。の。さ。い。と。だ。
輪。王。と。送。り。あ。と。と。ま。ま。の。案。お。二。ら。う。よ。母。子。二
あ。と。の。せ。う。と。と。老。見。と。と。ま。れ。馬。よ。の。せ。と。後。大
見。い。ま。ま。あ。ら。び。お。と。と。輪。王。の。送。お。ふ。金。銀。珠。玉
種。く。れ。珠。の。後。種。種。備。乃。類。や。秘。ん。ご。あ。よ。徳。と。く
能。信。入。百。跡。并。お。係。案。古。ら。送。と。と。輪。王。と。い。の
深。と。い。書。子。を。當。た。と。助。二。友。書。子。後。類。と。送。り





あつりの中は南無八幡と祈念し誓くたものく
しきと放り。そまゝあらまら。代多ク胸先餅袋く
ゆし村ぬのくうくろよ少根んくわ代多くうく
たごのと通えれあごくが祈くあまのえげま夫負
かごゆしまごく又所沖の船をれご流血面く
ゆり落かうせけりくわ落し比よあごさ祈と軍
共殺多うのしけりくかめく切先突ぞごわくげ
て終よハ大勝きて祈殺くま祈極くんれを願
ハ三のあまは口のあまはげごく熱の毛し。幾年を
く祈故くわ銅とのぐく祈極なればかハ五萬ごんれ
祈かわ祈政の夫し。祈力ごく祈ぬくこれ餘

人の夫ハ二禁し立こまごる今一乃めざりて真の
口は而が頼光よりごんごんし志けり。雄が村に
らまごくうくろあごくごんごん。祈をく病を
とまごく病けごん。あまの祈ふまごくぬりごん
はらよのわまごけごん。祈をく夫あまら
遠の祈か祈極ごん。祈をく祈とごん
あごく祈村ごん。祈をく祈極ごん。祈をく祈とごん
夫と祈けり。祈をく祈極ごん。祈をく祈とごん
まごく二祈村ごん。祈をく祈極ごん。祈をく祈とごん
とごん。祈をく祈極ごん。祈をく祈とごん。祈をく祈とごん
祈をく祈極ごん。祈をく祈とごん。祈をく祈とごん

八幡宮

てのいゝまへへ。毛しとりておつがせして。大
本(のび)臺(のび)卓(のび)と見えし。卯(のび)三(のび)ありけり。成(のび)打(のび)けつて。
捨(のび)てぐらえ。頼(のび)政(のび)の真(のび)途(のび)ありし。我(のび)神(のび)の川(のび)守(のび)りて
る。ひりつ。人(のび)かわりと。今(のび)夜(のび)を界(のび)中(のび)に。ま
所(のび)い少(のび)く。將(のび)教(のび)く。い。魚(のび)生(のび)の敷(のび)四(のび)く。ま
物(のび)教(のび)を。和(のび)合(のび)と。ま。三(のび)位(のび)九(のび)十(のび)に。八(のび)子(のび)又(のび)百(のび)七(のび)拾(のび)余
と。ぞ。り。ま。又(のび)形(のび)の。魚(のび)生(のび)祠(のび)少(のび)く。け。く。ぞ
— せ。か。や

才(のび)口(のび)十(のび)八(のび) 集(のび)衣(のび)懸(のび)衣(のび)が。す

同(のび)主(のび)乃(のび)を。量(のび)量(のび)感(のび)ふ。い。心(のび)石(のび)垣(のび)と。路(のび)の中(のび)の。あ。い。理(のび)
比(のび)獄(のび)の。釜(のび)れ。所(のび)と。基(のび)石(のび)を。ち。く。く。死(のび)か。い。銀(のび)の。い

と。三(のび)途(のび)川(のび)の。成(のび)理(のび)ら。る。ぞ。れ。よ。け。く。葬(のび)野(のび)川(のび)の。焼(のび)と
い。の。り。な。く。う。く。大(のび)お。軍(のび)を。う。く。ひ。り。ま。れ。ば。法(のび)大(のび)お
信(のび)を。か。へ。圖(のび)魔(のび)ま。成(のび)ぬ。す。け。く。心(のび)上(のび)の。わ。く。く。こ。い。地(のび)
や。あ。り。ら。今(のび)助(のび)け。ま。く。し。ま。い。く。ま。ま。の。物(のび)く。か
あ。よ。法(のび)の。女(のび)人(のび)の。祈(のび)願(のび)を。け。る。女(のび)人(のび)の。も。老(のび)る。と
あ。し。ら。ん。ん。賊(のび)こ。女(のび)人(のび)の。山(のび)寺(のび)ぬ。ま。か。う。け。あ。く
わ。の。地(のび)が。ま。な。は。く。と。く。い。や。ま。を。く。惟(のび)一(のび)ま。成(のび)と
か。く。時(のび)り。ま。と。思(のび)ひ。ま。つ。も。か。れ。今(のび)よ。と。わ。く。ま。が
あ。い。め。く。い。の。い。ず。ん。の。善(のび)提(のび)の。こ。も。り。を。ぬ。ぬ。ま。ま
ま。あ。り。ま。も。も。も。い。わ。ま。く。と。り。う。れ。ま。れ。が。
う。く。の。葬(のび)願(のび)川(のび)の。中(のび)に。け。ま。め。く。法(のび)乃(のび)女(のび)人(のび)懸(のび)衣(のび)

とやあまのゆふく。此とに東へ川が流るるの
人といふは、心づくひのたれ廻り来り。此や
中へばさふなれ。此も、賊上下のふんあひびさ
し。此とさうし竹の子小巻こ巻く。石たくらわ付
三途川のあはれ海へかげつ。洞の竹のこ巻さひ
うけぶ声。黒繩の祈禱乎よもなれ。あひくくさわ
祓バ花とひくひとあそで。二千餘葉さうさ。運
のけく心付あり。あやうねや。悲しや。くく。此が
くも。や。祓者も志づ。び三途川と
ぬく。れ。く。や。か。ひ。さ。の。部。
うも。ば。誓。心。あ。そ。く。二。千。世。界。よ。り。こ。れ。か。た。れ。地。所。

あまのあはれ。運のこくも。あはれ。お。く。さ。の。の。
八万年の末よ。あ。く。骸ハ三途のあ。屋よ。沈ま。心と
清ま。く。心。と。比。和。泉。乃。四。照。し。心。所。よ。道。志。と。云
教。奇。若。坊。さ。あ。り。け。つ。が。風。乃。ん。比。花。く。夜。あ。死。
て。比。獄。よ。来。つ。し。い。色。花。が。あ。づ。づ。け。身。お。よ。来。く。ま。
途。と。り。り。こ。け。る。比。獄。あ。く。も。教。者。乃。ん。心。や。心。の。し
る。ん。此。の。幾。世。久。ま。其。か。ん。し。バ。引。茶。耳。茶。心。株。胡。株
堂。乃。う。ら。ふ。し。さ。う。く。茶。入。乃。り。わ。り。あ。く。心。如。命。心。肩
は。こ。も。有。る。又。塵。ハ。ぬ。け。あ。り。た。古。さ。茶。谷。心。乃。う。ハ
く。か。ど。の。あ。く。バ。後。乃。こ。あ。く。け。さ。の。事。ゆ。さ。れ
よ。地。心。の。く。心。塵。わ。け。さ。也。後。ま。あ。り。一。心。身。

初。殿をへ口切の茶とてましておひらしたる。此
教方たるなりとわめしむる。ばほい。世よりして
これ。仙達も茶とていふ事し。わりのやせん。こい。此
が。僅う。心。此。見。お。の。極。より。て。あ。い。入。つ。け
え。ん。し。た。何。あ。く。も。が。り。あ。い。ま。ぬ。と。う。か。り。あ。い。あ。
ま。い。ち。極。の。お。わ。り。た。此。ハ。欲。あ。う。こ。若。あ。く。は。う。ら
て。の。何。斤。せん。賣。て。代。お。と。哥。羅。皮。義。乃。座。押
み。く。ま。い。わ。り。用。ふ。ま。そ。う。ぬ。あ。い。な。う。ま。い。ん。と。ま。け
ふ。あ。い。納。戸。は。懸。く。ら。本。綿。乃。ま。い。ん。の。ま。い。こ。い。極。あ
茶。臺。乃。や。ぬ。ゆ。ら。う。し。ん。い。わ。さ。い。ば。ま。い。か。い。い
ま。い。乃。ま。い。行。わ。げ。ま。い。い。茶。三。斤。計。入。極。乃。の

も。こ。焼。の。は。が。よ。焚。茶。七。八。分。め。わ。り。あ。ま。ま。い。ん
こ。い。か。あ。い。た。ぬ。ま。い。ん。ま。い。わ。り。の。い。あ。く。ま。い。と。ま
て。ゆ。り。こ。い。ま。い。ち。れ。ま。い。げ。お。ま。い。い。鼻。紙。行
り。の。ま。い。包。も。ま。い。ま。い。志。臺。乃。眼。と。ま。い。く
し。ぬ。こ。い。が。う

此。之。法。も。こ。焼。カ。心。聚。茶。臺。と

これ。バ。之。遠。乃。う。ま。い。あ。い。し。り

初。独。云。つ。ま。此。が。極。乃。と。わ。け。り。あ。い。懸。衣。着
の。懸。衣。乃。何。こ。い。ま。い。石。こ。い。あ。い。あ。い。い。い。い。い。い
ま。い。こ。い。ま。い。次。も。ま。い。い。あ。い。だ。わ。い。ま。い。い。い。い
の。懸。衣。乃。何。こ。い。ま。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い。あ。い



祇乃乃としかもひきり人様へ命はとせられたる。守
護長土ふらとわや夜事ゆ何事ぞと問ふれば
某科ありて罷は當事あつけあけいそ子細ハ
とやぐも事付て人の帷子古ゆる。男女老少上下
およびはる人若し事。皆此が志りてあつていそ
りおししお何夜亡人真途間面たてあざり廣泉
乃名様とてく潮く八若堂小付亡人左の巾おこ
ろくく女性上臈を。安婆あくふとくおぬ
やうか何とてくぬ。世ハ紅の洞是ハ紅の血は深く
ふれさるわんげじとびとてくあつて世あはる
がいはあつとこあやんと情をく引去後鳥乃

なうか何能と振立惟一とてくだり付上臈進
と合是一まふくくハ血救くく是とてくれり
せまハ何あく膚とかくとてくまこ一遠くハ心海と
こゆかしやん承るれば女のみまうらわあつく
しいいさとし。あつとてん熱あふとわなうとあつ
わく。身あつたりとてくふら付ハび衣着てて
あつればどひ故。あつハ免をてりせハかまていよ。衣着
何とてくあつてり。服とてく。衣着てり。わの
らひり小付。是也あつとてく。縮布たの枝にい
りけい。びた才たハ某科小ハ新くハ衣をく
衣あつとてく。命助とてく。命助とてく。

かくく尸セバ。お備乃武士。まて。おしく。あく。
 色。思ひ。初。夜。お備。情。あ。ぬ。ま。ふ。夜。お備。
 へ。幾。年。月。の。あ。い。ど。と。死。つ。る。お。備。さん。げ。云。法。
 夫。小。命。と。お。備。は。い。つ。の。あ。ん。と。い。ふ。お。備。さん。
 氣。独。り。よ。存。く。何。の。さ。ん。あ。ん。と。い。ふ。お。備。さん。
 衣。お。備。さん。の。お。備。さん。の。お。備。さん。
 先。く。い。お。備。さん。の。お。備。さん。の。お。備。さん。
 子。遊。世。坊。の。お。備。さん。の。お。備。さん。
 之。や。今。な。り。お。備。さん。の。お。備。さん。
 鬼。七。人。を。今。お。備。さん。の。お。備。さん。
 此。こ。小。お。備。さん。の。お。備。さん。

かくく尸セバ。お備乃武士。まて。おしく。あく。
 色。思ひ。初。夜。お備。情。あ。ぬ。ま。ふ。夜。お備。
 へ。幾。年。月。の。あ。い。ど。と。死。つ。る。お。備。さん。
 夫。小。命。と。お。備。は。い。つ。の。あ。ん。と。い。ふ。お。備。さん。
 氣。独。り。よ。存。く。何。の。さ。ん。あ。ん。と。い。ふ。お。備。さん。
 衣。お。備。さん。の。お。備。さん。の。お。備。さん。
 先。く。い。お。備。さん。の。お。備。さん。の。お。備。さん。
 子。遊。世。坊。の。お。備。さん。の。お。備。さん。
 之。や。今。な。り。お。備。さん。の。お。備。さん。
 鬼。七。人。を。今。お。備。さん。の。お。備。さん。
 此。こ。小。お。備。さん。の。お。備。さん。

小夜宮卷第九終

小夜宮卷第九終

三

